
2022年度 リリース

P*
スタディ 

P+
プラス 

新課程「情報I」対応教材のご案内

「情報I」で扱う内容を網羅した、オンライン型学習プログラムとテストです。

「情報Ⅰ」の4つの領域を網羅した教材で、 育成から測定までを丸ごとサポート

新学習指導要領に対応した学習プログラム「Pスタディ」と、
テストの「Pプラス」で、これからの時代に必須となる情報活用力を育成します。



学習プログラム「Pスタディ」+テスト「Pプラス」活用の特長

- ① 学習+測定のセットで、知識・技能の習得から評価、振り返りまで対応
“わかったつもり”で終わらせないための学習の流れをつくります。
- ② 完全ブラウザベースとなっており、紙の資材は一切なし
実施・運用はすべてオンライン。準備や設定に手間がかかりません。
- ③ 教科情報に特有の単元も学習&測定がしやすい
試行錯誤が必要な単元も、教材とテストを通じた操作・実践を繰り返し、科学的な理解を深められます。



単元に最適化された教材で、効果的に学習できる

試行錯誤が必要な単元は体験を通して学べる教材、知識習得が必要な単元は解説中心の教材と動画で学習します。それぞれの教材にはワークや確認テストも含まれています。

POINT!
1

プログラミングなど実際に作業が必要な単元は、ブラウザ上で作業可能！

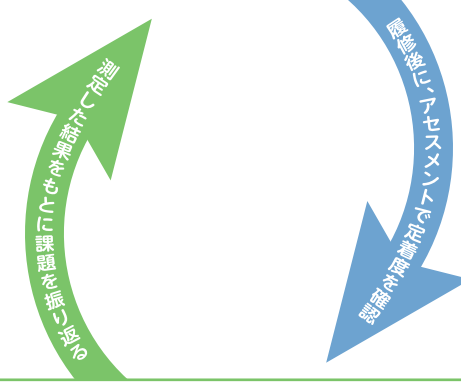
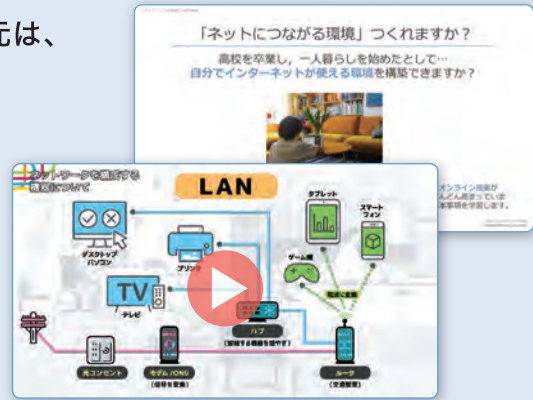
複雑な環境設定などは不要です。

POINT!
2

重要なポイントが整理された教材で、無理なく効果的な学びを実現！

POINT!
3

身近な素材を使って、生徒の興味関心を引き出す豊富な動画コンテンツ！



生徒が授業等を通じて身につけた情報活用力を可視化する

新学習指導要領に対応したCBT型のテストです。知識問題+実際のコンピュータ操作を伴う問題で、情報活用力を総合的に測定します。

(中学卒業レベル) と (情報I対応) の2種類のタイプがあります。

POINT!
1

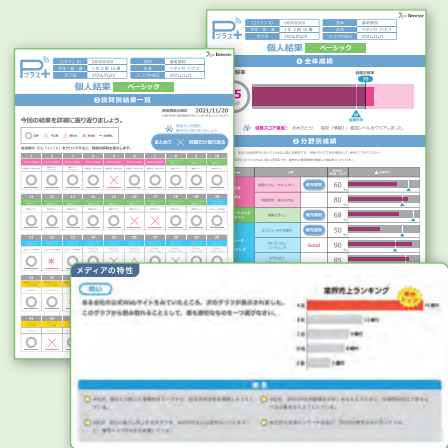
受験時間45分+準備5分で、授業の時間内で受験&即時結果返却！

POINT!
2

全問解答解説つき！「Pスタディ」とも連動し、受験結果に応じた復習コンテンツが確認できる！

POINT!
3

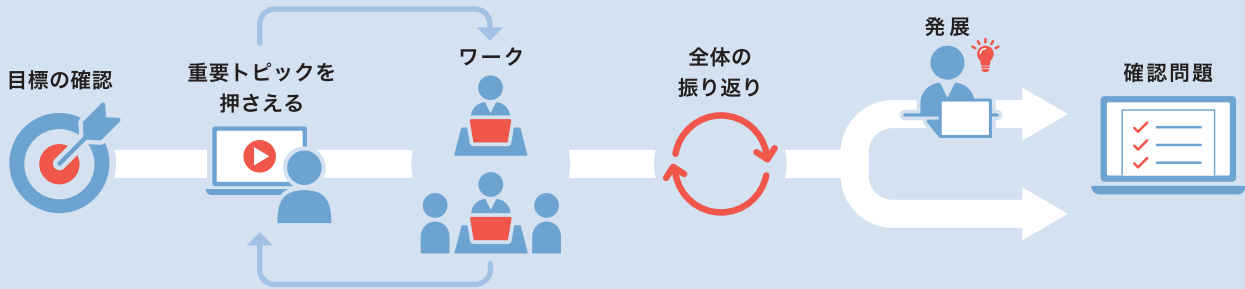
「情報I」の履修前にコアタイプで理解度の事前把握を、履修後にベーシックタイプで定着度の確認を！



「Pスタディ」は、生徒の知識・技能から思考力や実践力までの習得をサポートする「情報I」対応のオンライン型学習プログラムです。

学習の流れ

インプット、ワーク、振り返り、発展、確認問題の流れで網羅的に学習していきます。



単元の特性に合わせて、「体験型教材」「解説型教材」の**2種類**の教材をご用意。それぞれに動画、ワーク、確認問題がついており、組み合わせて活用いただけます。

その1

体験型教材 実際に作業をしたり、体験したりすることが重要な単元の学習に

プログラミングなど、実際に手を動かして試行錯誤することが大事な単元は体験型の教材をご用意。先生と生徒のキャラクターが繰り広げる会話型の講義を読みながら、画面上の生徒と一緒に疑問やつまづきを解消し理解を深めます。

量子化ビット数による音質の差、フレームレートによる動画の見え方の違いなど、数値の意味を操作で体感しながら理解することができます。

では実際に、フレームレートが違う動画の見え方がどのように変わるのかを確認しましょう。下のツールを見てください。ここではフレームレート数が違う動画を用意してあります。それぞれの動画を見て、どのように見え方が違うのかを確認してください。

動画の仕組み

ps	5 fps
10 fps	30 fps

フレームレートが少ないと、動きがカクカクして気持ち悪い。

動画や音声を再生し体感できる！

会話形式のかみ砕いたわかりやすい説明を読みながら、ブラウザ内でコードの記述・実行ができます。

1行目でリストをつくり、2、3行目でリストの添字[0]と[1]の合計を表示するように記述しました。

実行ボタンを押してみましょう。

```

games = [10, 13, 8, 19, 21, 4, 8, 10, 2, 14]
sum = games[0] + games[1]
print(sum)

```

「23」が出力されたよ！
左から1番目と2番目の10と13がたし算されたんだね！

プログラムを書き込んで

結果を確認！

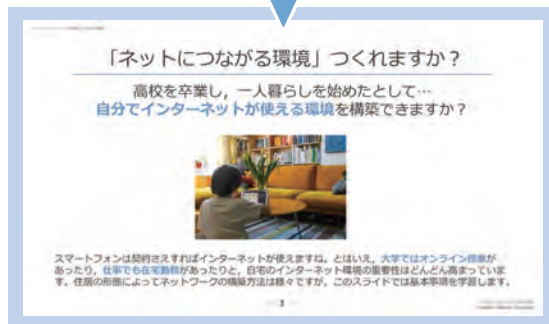
その2 解説型教材 社会での活用事例を通して知識を得る単元の学習に

知識の習得や、複雑な仕組みを系統立てて理解することが必要な単元には解説型教材をご用意。要点をわかりやすくまとめたスライドを読み進めながら、高校生にとって身近で実社会に即した事例を通して理解を深めます。

解説型教材の例

例えば右のように LAN について学ぶ単元では、将来の一人暮らしのことを想起させるなど、興味関心を持たせる工夫をしています。

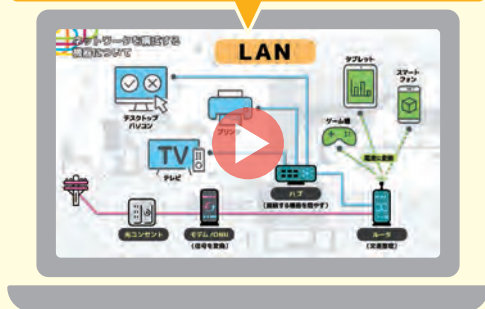
Web サイトにある無料お試し版から確認できます



Pスタディのメリット

各単元の重要なポイントは、動画で学べて理解しやすい！

Web サイトにある無料お試し版から確認できます



サーバの仕組みといった直接見ることができないもの、また、プログラミングを学ぶ意義を伝え、生徒の学習意欲を高めた場面など、動画の特長を生かした教材をご用意しています。

動画のポイント

- ・ 5分程度の動画で必要な学習内容を端的にまとめているので、飽きずに学習を続けられます。
- ・ 実際の社会で使われている事例をストーリーに仕立てて説明しています。

生徒が体験を通して学べ、また素材集としても優秀な教材

私の学校では、データベースの授業で「Pスタディ」を取り入れました。データベースの授業では、本来ならば教員の私が自前で必要なデータベースやデータを授業を行う人数分準備しなければならないのですが、「Pスタディ」はあらかじめ実習環境が整っているため、そういった事前準備が不要になりました。実際の授業では、生徒が「データ管理するときは、適度にテーブルを分けた方がいいんだね」「紙では面倒だったことが一瞬で管理できてすごい」など、手を動かしてみないとわからなかったことを実感し、深い理解に繋がってくれたようでした。

また情報デザインのコンテンツでは、いい例や悪い例のポスターを見ながらいいデザインを考えていくというものがありません。授業とはいえ、悪い例の素材は、実生活だと集めにくいですよね。世に出回っているものはプロがつくったものなので、「情報デザインとしてあまりよくない」と感じたとしても、授業で例としては使いにくいものです。その点、「Pスタディ」では、「こういう素材があったらいいのに」というものが載っていて、先生にとって授業でもとても使いやすいと思いました。



東京都立
三鷹中等教育学校
能城 茂雄先生

「Pスタディ」では、新課程「情報Ⅰ」に沿って下記の項目を学習することができます。

また、生徒の興味関心に応じて利用いただける付録教材もご用意しています。

章	テーマ	項目	内容	教材の種類	
1. 情報社会の問題解決	問題を発見・解決する方法	情報やメディアの特性	情報とは、情報の特性、メディアの特性、情報の可視化	解説型教材	
		問題の発見・解決 振り返りと改善	問題解決の流れ、思考の広がりや深まり、科学的な根拠、ゴールの想定、 成果の発信、共有と蓄積、改善	解説型教材	
	情報社会における 個人の果たす役割と責任	情報に関する法や制度	知的財産権・個人情報保護法 法規・制度の順守、マナーの意義、情報の取り扱い	解説型教材	
		情報セキュリティの重要性	不正アクセス禁止法について 機密性・完全性・可用性、組織的・個人的・技術的な対策	解説型教材	
2. コミュニケーションと 情報デザイン	メディアの特性と コミュニケーション手段	デジタルデータの表現(2進法)	デジタルデータとは何か(アナログとデジタルの違い)がわかる 2進法	体験型教材	
		デジタルデータの表現(16進法)	10進法、16進法	体験型教材	
		文字のデジタル化	文字のデジタル化	体験型教材	
		音のデジタル化	音のデジタル化	体験型教材	
		画像のデジタル化	画像のデジタル化	体験型教材	
		動画のデジタル化	動画のデジタル化	体験型教材	
		データの圧縮	データの圧縮(ランレングス法・ハフマン法)	体験型教材	
		コミュニケーション手段の特徴	コミュニケーションモデル、メディアの特性、効果的なコミュニケーション	解説型教材	
	情報デザイン	情報デザインとは	課題解決のための情報デザインについて 情報デザインとは・その手法について	解説型教材	
		課題の発見・情報の収集	課題発見の方法・目的に合わせた計画 ブレインストーミングなどの発想法	解説型教材	
		情報の整理分析手法	情報の整理・分析の手法 構造化・可視化・抽象化などの情報整理の手法	解説型教材	
		情報の表現手法	情報の表現方法 ビクトグラムやデザインの基本原則、また表現の際に意識すべきユニバーサルデザインなど	解説型教材	
		情報の表現・伝達・評価	プロトタイプ制作とその評価の方法1 ペーパープロトタイピングの方法・実践	解説型教材	
		情報の表現・伝達・評価	プロトタイプ制作とその評価の方法2 ペーパープロトタイピングの方法・実践とその評価方法について	解説型教材	
		付録	アプリケーションの使い方	Word、PowerPoint、Excelの使い方	
		付録	タイピング	タイピング練習	
付録	ロボットと防災	防災で役立つロボットを企画			
付録	Webページ制作	Webサイトの制作実習			
3. コンピュータと プログラミング	コンピュータの仕組み	コンピュータの仕組み	コンピュータの基本構成(CPU、メモリ、論理回路など)	解説型教材	
		コンピュータの基本構成	基本ソフトウェアと応用ソフトウェア	解説型教材	
		演算の仕組みやコンピュータの限界	論理演算、計算誤差など	解説型教材	
	アルゴリズムとプログラミング	プログラミング導入	プログラミングを学ぶ意義・学ぶために必要なスキル(調べ方など)	解説型教材	
		基本的プログラム(1)	アルゴリズム、フローチャート等プログラムの基本構造を理解する	体験型教材	
		基本的プログラム(2)	順次・分岐	体験型教材	
		基本的プログラム(3)	反復	体験型教材	
		基本的プログラム(4)	変数	体験型教材	
		基本的プログラム(5)	リスト・乱数	体験型教材	
		応用的プログラム(1)	関数	体験型教材	
		応用的プログラム(2)	WebAPI	体験型教材	
	アルゴリズムの比較	探索アルゴリズムの比較、ソートアルゴリズムの比較	解説型教材		
	モデル化とシミュレーション	モデル化とシミュレーション	モデル、モデルの種類、プログラミングを使ったシミュレーション	解説型教材	
確定モデルと確率モデル		確定モデルのシミュレーション、確率モデルのシミュレーション	解説型教材		
自然現象のモデル化とシミュレーション		自然現象のモデル化とシミュレーション、モデルの妥当性の検討	解説型教材		
付録	リモートセンシングとGoogle Earth Engine				
付録	パソコンの組み立て方				
4. 情報通信 ネットワークと データの活用	情報通信ネットワークの 仕組みと役割	ネットワークの構成とLANの構築	LANの構築、LANとWAN	解説型教材	
		情報通信ネットワークの仕組みと役割	サーバ、クライアント	解説型教材	
		通信プロトコルとデータ通信	プロトコル、経路制御、伝送制御	解説型教材	
		情報セキュリティ(認証技術)	ネットワークの認証技術(二要素認証・電子署名等)	解説型教材	
		情報セキュリティ(暗号化)	情報の暗号化(共通鍵暗号方式・公開鍵暗号方式)	解説型教材	
	情報システムとデータの管理	データの蓄積と管理	データ、データの蓄積	体験型教材	
		データベース	関係データベース	体験型教材	
		情報システムとそのサービス(1)	さまざまな情報システムについて	解説型教材	
		情報システムとそのサービス(2)	情報システムの仕組み	解説型教材	
	データの収集・整理・分析	データサイエンスを体験しよう(1)	課題の発見と調査の計画	解説型教材	
		データサイエンスを体験しよう(2)	データの処理と分析、結論付け	解説型教材	
		さまざまなデータ	尺度水準、量的データ、質的データ、データの形式、ビックデータ、オープンデータ	解説型教材	
		データの分析手法	テキストマイニング、Webスクレイピング、単回帰分析、可視化、評価指標	解説型教材	

◎このページでご紹介している内容は開発中のものです。実際の内容とは異なる場合がございます。

「情報Ⅰ」の学習もこれで安心！

情報科担当の先生の不安にお答えします。



教科情報の専門家ではないので、うまく教えられるか自信がない…

「Pスタディ」は、生徒が自主的に学習を進められるように設計されています。生徒がスライド資料や会話形式の講義に沿って学習を進めていけば、各単元の要点の理解から実習までできるようになっています。



「情報Ⅰ」で学習する内容が膨大。きちんと生徒は学びきれんのだろうか…

「Pスタディ」では、学習指導要領の中でポイントとなる箇所を抽出して項目を厳選しているため、「情報Ⅰ」の内容を網羅しつつ1年間で学習を終えることができます。



そもそもの生徒の学力がバラバラ。基本的な操作でつまづく生徒だっているのにいきなり高度なことなんて理解できないじゃ…

「Pスタディ」では通常の学習コンテンツのほかに、付録教材として“Office”ソフト用の教材や、タイピング練習なども含めており、学習の状況に合わせてご利用いただけます。



「情報Ⅰ」の履修は高1だから、高3でも何か受験対策が必要。でも授業でそんな時間はとれないし…

「Pスタディ」は、生徒が自主的に学習を進められる設計になっているため、授業がない学年でも入試に向けた学習教材としてお使いいただけます。



Webサイトにて、**無料お試し版**をお申し込みいただけます。



<https://www.p-pras.com/otameshi/index.html>

または **Pスタディ お試し** → お申込ページへ



「Pプラス ベーシック」は新課程「情報Ⅰ」に対応したテストです。

「Pスタディ」や「情報Ⅰ」の1年間の授業で学習した内容をどの程度理解しているかを確認することができます。

出題内容



※コアタイプの出題内容は、「Pプラス」のWebサイトをご確認ください。



情報社会の問題解決

情報社会において基盤となる法やセキュリティ知識について、科学的に理解できているかどうかを測ります。また、問題解決のための方法（課題の設定、仮説検証、情報収集・分析、評価・改善など）について問います。



コンピュータとプログラミング

目的に応じてアルゴリズムを考える力や、基本的なプログラムをつくりたり不具合を修正したりする力を測ります。また、モデル化とシミュレーションに関する理解や、コンピュータの仕組みや特徴についても問います。



コミュニケーションと情報デザイン

受けとった情報の信頼性について吟味・判断をすることができるかや、コミュニケーションの目的や受け手の状況に応じて、情報を適切かつ効果的な方法で表現・伝達することができるかを問います。



情報通信ネットワークとデータの活用

情報通信ネットワークの仕組みや、データベースを利用した情報システムについて問います。また、目的に応じてデータを収集・分析する力や、分析結果を解釈・考察・活用する力を測ります。

活用のアドバイス！

年度当初にコアタイプを受験してから「情報Ⅰ」の授業を始めることで、生徒の習熟度に沿った進捗を考えることができます。ベーシックタイプは、1年間の授業を終えた後の総まとめとしてご利用いただけます。

「情報Ⅰ」で育む力をいかに測るか

IT系の試験は数多く存在していましたが、操作技術に偏っていたり、ビジネス寄りの内容だったり、高校生の学習定着度を測るには適切なものがありませんでした。「Pプラス ベーシック」はまさに「情報Ⅰ」を主眼としたテストで、「情報Ⅰ」をバランスよく網羅しています。各単元の定着度も示され、入試対応だけでなく、生徒の振り返りの良い指針となるでしょう。何より、自身の授業改善にも大きく役立ちそうだと期待をしています。

また「Pプラス」はCBT方式にこだわって設計されています。情報科の本質は試行錯誤にあり、CBTは極めて相性の良い方式です。この能力は可視化が非常に難しく、定期試験でも出題に随分苦労します。試験自体が、試行錯誤する力を育む貴重な機会として機能することも魅力的です。



私立
日出学園中学校・高等学校
武善 紀之先生

問題例

「Pプラス ベーシック」で出題される問題の一例です。下記の他にも、公式サイトには「Pプラス」の各タイプのお試し問題があり、解答解説もご確認いただけます。 ※実際のテスト問題とは異なります。

コミュニケーションと情報デザイン

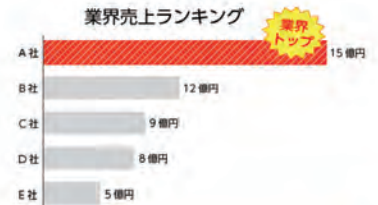
【出題のねらい】

メディアにおける情報の信頼性について、疑問を持ち、確認・吟味することができるかを問うています。

メディアの特性

問い

ある会社の公式Webサイトをみていたところ、次のグラフが表示されました。このグラフから読み取れることとして、最も適切なもの一つ選びなさい。



解答

- A社が、他社と比較した客観的なデータから、自社の将来性を強調しようとしている。
- A社が、ほかの4社の数値を少なくみえるように示し、圧倒的な売上であるような印象を与えようとしている。
- B社が、E社と協力し売上を合わせても、A社の売上には届かないことを示し、業界トップのA社を称賛している。
- 中立的な立場のリサーチ会社が、5社の比較を公平に行っている。

情報通信ネットワークとデータの活用

【出題のねらい】

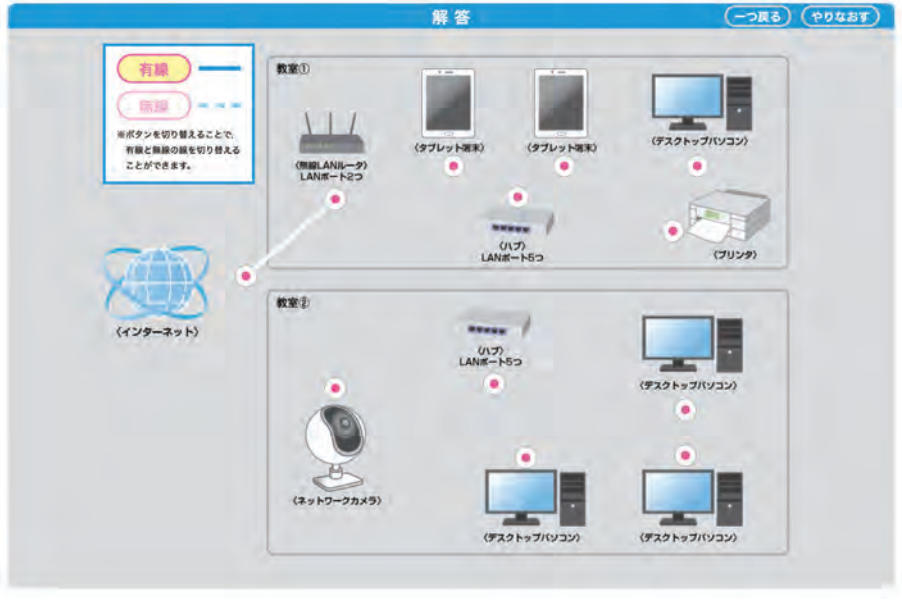
目的に応じて情報通信ネットワークの設計ができるか、またルータやハブの役割を理解しているかを問うています。

ネットワークの構築

問い

学校のコンピュータ室のネットワーク構築を手伝うことになりました。2つの教室があり、各教室には下の図のように機器を配置します。デスクトップパソコンとプリンタは、ハブを介して有線でインターネットに接続します。タブレット端末とネットワークカメラは、無線で接続します。無線LANルータは教室①に設置することになります。このとき、2つの教室のネットワークの配線はどのようなになっているか、有線は実線で、無線は点線でつなぎ、図に示しなさい。

解答



「Pプラス ベーシック」サンプル問題はこちら

https://www.p-pras.com/basic/sample_test/

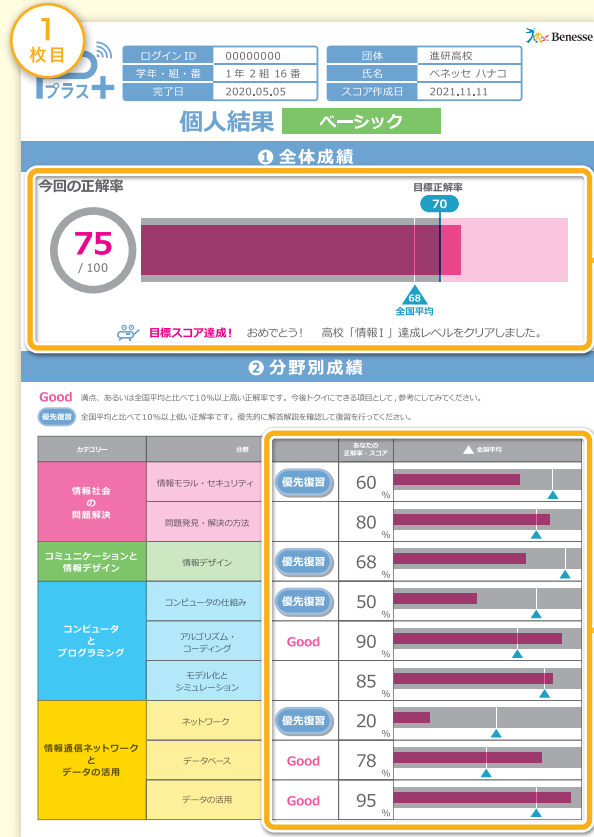


受験が終わると解答はすぐに採点され、生徒一人ひとりが受験結果を画面上で確認できます。

生徒用 個人結果

結果確認

スコアと分野別の到達度で結果を総括。できている分野もきちんと評価し、振り返りへと誘導する



全体結果で自分の立ち位置を確認

目標スコアだけでなく、全国平均とも比較することで、現在の到達度がわかります。生徒の達成感や継続的な学習へのモチベーションを高めます。

領域別項目別結果から、強み弱みを確認

領域・項目別の結果から、学習内容の強みと弱みがわかるので、優先順位をつけながら振り返りを進めていきます。

先生用 結果帳票

度数分布で概況を理解、スコア一覧で生徒個別の弱点を把握

ID	学年	組	番	氏名	受験日	総合	情報社会の問題解決	コミュニケーションと情報デザイン	コンピュータとプログラミング	情報通信ネットワークとデータの活用
						スコア	スコア	スコア	スコア	スコア
SASSIXX	3	1	1	????????????	2021/12/31	85	85	85	85	85
SASSIXX	3	1	2	????????????	2021/12/31	72	61	88	91	50
SASSIXX	3	1	3	????????????	2021/12/31	100	100	100	100	100
SASSIXX	3	1	4	????????????	2021/12/31	90	90	90	92	88
SASSIXX	3	1	5	????????????	2021/12/31	65	66	76	65	54
SASSIXX	3	1	6	????????????	2021/12/31	88	67	88	100	100
SASSIXX	3	1	7	????????????	2021/12/31	94	100	97	88	91
SASSIXX	3	1	8	????????????	2021/12/31	79	60	80	100	77
SASSIXX	3	1	9	????????????	2021/12/31	93	98	80	100	96

全受験者の成績を集計した Excel ファイルをダウンロードできます。

学年全体・クラス別で、度数分布や正答率を確認できます。生徒の成績をつける際のご参考にさせていただきます。

帳票の2枚目では、出題された問題とそれぞれの正誤状況を確認して振り返ることができます。

復習

内容をその場で振り返り、定着度の把握と効果的な復習につなげる

2枚目

ログインID: 00000000 団体: 進研高校
 学年・組・番: 1年2組16番 氏名: ベネッセ ハナコ
 完了日: 2020.05.05 スコア作成日: 2021.11.11

個人結果 ベーシック

① 設問別結果一覧

解答解説公開日 2021/11/20
 公開日詳細に解答解説を見ることができるようになります。

今回の結果を詳細に振り返りましょう。

正解 不正解 部分点 未回答 一部誤解し

各設問の「○」「×」「*」をクリックすると、問題の解説を表示します。

問題1	問題2	問題3	問題4	問題5	問題6	問題7	問題8	問題9	問題10
○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
○	*	○	○	×	△	○	×	○	○

解説画面

メディアの特性

面白い

ある会社の公式Webサイトを見ていたところ、次のグラフが表示されました。このグラフから読み取れることとして、最も適切なものを一つ選びなさい。

業界売上ランキング

A社	12億円
B社	8億円
C社	6億円
D社	5億円
E社	3億円

解説

○ A社が、弊社と提携した最新型モニターを開発し、自社が得意な地域に重点的に展開しようとしている。

○ B社は、競合と似たような商品を開発し、A社の売上と同様に展開しようとしている。

○ C社は、競合と似たような商品を開発し、A社の売上と同様に展開しようとしている。

○ D社は、競合と似たような商品を開発し、A社の売上と同様に展開しようとしている。

○ E社は、競合と似たような商品を開発し、A社の売上と同様に展開しようとしている。

問題のつらい

メディアにおける情報の信頼性について、理解をもち、確認・訂正することができるかを問うています。

解説

「面白い」として示しているグラフですが、業界の売上ランキングに注目すると、A社が売上を伸ばしていることがわかります。これは、最新のデータと見比べると一致しません。また、競合と似たような商品を開発し、A社の売上と同様に展開しようとしているため、A社も売上アップします。

まとめて楽々振り返り！

時間がない生徒は、まとめて不正解だった問題だけを振り返ることができます。効率的に学習したい生徒におすすめです。

すべての問題の解答解説を公開！

すべての問題に解答解説がついているので、意欲的に取り組む生徒の着実な理解を手助けします。

わかりやすい解説で要点を理解！

問題の要点を押さえた解説を読むことで、つまづきやあやふやなところを理解することができます。

さらに！

「Pスタディ」
受講者対象



「Pプラス」の結果に対応した復習レポート機能あり

「Pスタディ」もセットでご使用されている場合は、弱点に合わせた講義等がお勧めされるリコメンド機能「復習レポート」が「Pスタディ」上に出ます。生徒の復習をさらに深め、根本からの理解をめざします。

商品概要					
商品	Pスタディ	Pプラス・ベーシック		Pプラス・コア	
価格	990円/人(税込) ※申込時～年度末までのご利用料金	1,320円(税込)/人		1,320円(税込)/人	
出題範囲・レベル	情報I/高校標準レベル	情報I/高校標準レベル		中技術家庭科/中学卒業レベル	
対象者	高校1年生～3年生	高校1年生～3年生		中学1年生～高校1年生	
出題範囲・レベル	情報I/高校標準レベル	情報I/高校標準レベル		中技術家庭科/中学卒業レベル	
申し込み開始	2022年3月～	2022年3月～		2022年3月～	
実施日	お申し込みいただいた年度内は自由に活用可能 ※受講データは5年間保管。進級に伴い利用終了後も、再度採択をすれば、過去のデータが引き継がれます。	秋以降～2023年3月17日の期間で2か月間の実施期間を設定可能 ※期間内でしたら、希望日は何度でも変更できます。		2022年4月11日～2023年3月17日の期間で2か月間の実施期間を設定可能 ※期間内でしたら、希望日は何度でも変更できます。	
実施方式	ベネッセ共通ID 先生:SASTI-ID 生徒:SASSI-ID	ベネッセ共通ID 先生:SASTI-ID 生徒:SASSI-ID		ベネッセ共通ID 先生:SASTI-ID 生徒:SASSI-ID	
実施場所	学校・ご家庭など ※教材はお申し込み主催者でご用意ください。 ※インターネットに接続できればどこからでもご利用可能です。	学校 ※お申し込み主催者でご用意ください。		学校 ※お申し込み主催者でご用意ください。	
実施時間	1コンテンツあたり45～50分の学習時間 ※上記には、付録のコンテンツや準備の時間を含まません。	45分程度 ※上記の時間は、取り組み準備、結果振り返り等の時間は含まれません。※インターネット環境によって、時間が多少変動する可能性があります。		45分程度 ※上記の時間は、取り組み準備、結果振り返り等の時間は含まれません。※インターネット環境によって、時間が多少変動する可能性があります。	
動作環境					
		団体管理 (先生・団体管理者向け)	受検 (生徒向け)	団体管理 (先生・団体管理者向け)	受検 (生徒向け)
OS	【2021/10/1時点】 Windows10/macOS 10.13 High Sierra以降 Chrome OS/Android 5.0～ iOS10～ ※2世代以前のバージョンは非推奨	Windows 8.1 (32/64bit版に対応) Windows 10 (32/64bit版に対応)	Windows8.1/Windows10 Chromebook:Chrome OS ・32/64bit版に対応・タブレットの 場合デスクトップモードのみ iPad:iOS 12以降	Windows 8.1 (32/64bit版に対応) Windows 10 (32/64bit版に対応)	Windows8.1/Windows10 Chromebook:Chrome OS ・32/64bit版に対応・タブレットの 場合デスクトップモードのみ iPad:iOS 12以降
ブラウザ	【2021/10/1時点】 Google Chrome 最新版/Microsoft Edge 最新版 Firefox 最新版/Safari 最新版	Google Chrome 最新版 Microsoft Edge 最新版	Google Chrome 最新版 Microsoft Edge 最新版	Google Chrome 最新版 Microsoft Edge 最新版	Google Chrome 最新版 Microsoft Edge 最新版
CPU・メモリ	指定はございません。	Intel Core 2 Duo 2GHz以上 またはこれに相当以上のCPU メモリ:4GB以上	Intel Core 2 Duo 2GHz以上 またはこれに相当以上のCPU メモリ:1GB以上	Intel Core 2 Duo 2GHz以上 またはこれに相当以上のCPU メモリ:4GB以上	Intel Core 2 Duo 2GHz以上 またはこれに相当以上のCPU メモリ:1GB以上
HDD/SDD 空き容量		4GB以上	1GB以上	4GB以上	1GB以上
ディスプレイ解像度		1280×768ピクセル以上 ※画面は横向きのみ対応をしていま す。縦向きには対応していません。	1280×768ピクセル以上 ・タブレットの場合は 1024×768ピクセル以上	1280×768ピクセル以上 ※画面は横向きのみ対応をしていま す。縦向きには対応していません。	1280×768ピクセル以上 ・タブレットの場合は 1024×768ピクセル以上
必要なアプリケーション		.NET Framework 4.5.2 Microsoft Excel 2010以降 Adobe PDF Reader 最新版		.NET Framework 4.5.2 Microsoft Excel 2010以降 Adobe PDF Reader 最新版	

詳しくは「Pプラス」Webサイトをご確認ください



0120-350455

受付時間

月～金：8時～18時

土：8時～17時（祝日・年末年始を除く）



<https://www.p-pras.com>

または **Pプラス ベネッセ** で検索



進化するICT社会のサポート

PK検

社会で必要とされるICTを活用した問題解決力を育成

<https://www.pken.com>

◎ここに掲載した内容、機能、仕様やデザインについては予告なく変更する場合があります。

2021年10月1日発行 発行所：(株)ベネッセコーポレーション

©Benesse Corporation 2021 Printed in Japan



* 1 5 5 S P P *